

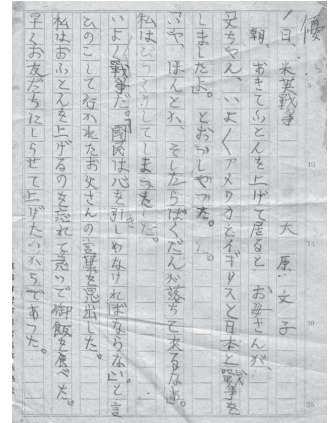
戦争と学校 — 戦後70年をむかえて —

今年は、第二次世界大戦の終戦から70年の節目を迎えます。開戦後、学校はしだいに戦時色が強まっていき、昭和19年から本格的な学徒勤労動員、昭和20年から学童集団疎開も始まり、終戦を迎えます。ただし「終戦」というのは、あくまで戦いが終わったということ。食糧不足、戦中戦後の学校再編、学童疎開・学徒勤労動員の経験、親の戦死など、戦争の影響や記憶は「戦後」も残り続けます。本展では、市内の小学校・中等教育の学校(今の中学・高校)を対象に、戦時下の学校生活がいかなるものであったのか、そして戦争が「戦後」の学校にどのような影響を与えたのかをふりかえります。

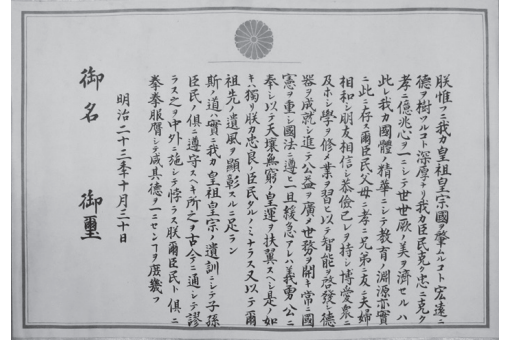


運動会の行進(昭和19年頃、開智国民学校)

先生の応召記念
(昭和18年頃、市立女子商業学校)
※後の城巽中学校



開戦の日に父を思う作文
(昭和16年、安寧国民学校)
※父は後にレイテ島で戦死



教育二関スル勅語(謄本)(戦前戦中期、待賢国民学校)

竹製水筒(昭和18年頃)



防空頭巾(昭和18年頃、滋野国民学校)

企画展関連講演会

戦争は学校に何を残したのか — 戦後70年をむかえて —

日 時: 8月8日(土)・8月15日(土) 14時~15時30分 ※両日も同じ内容です。

講 師: 和崎光太郎(当館学芸員)

会 場: 当館講義室 定員: 60名(申込先着順)

参加費: 無料(別途入館料が必要)

申 込: 当館への電話(075-344-1305), FAX(075-344-1327),

Eメール(rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp), ハガキ。

※イベント名、代表者氏名、連絡先電話番号、参加人数を明記。定員に達しだい受付終了。

※ハガキ、FAX、Eメールの受付確認の返信は行っておりません。

学校歴史博物館

検索



黒塗りが残る校舎(昭和21年、四条商業学校)
※戦時中に空襲を避けるため塗られた。後の四条中学校。

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- 阪急…河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
- 京阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
- 地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
- 市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ
- 市バス…河原町松原 徒歩約5分 北西へ

京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437

TEL.075-344-1305 ※水曜休館 <http://kyo-gakurehaku.jp>

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

